



樗

KEYAKI

第3号
2019. 5. 16
発行

前期生徒会による 『あいさつ運動』はじまりました！



令和元年度の前期生徒会が本格的に動き出しました。
「**“突破 ～能勢中の限界という壁を～”**」というスローガンを掲げ、まず最初に始めたのが『あいさつ運動』です。今週末の土曜日から中3生は修学旅行に行きますが、それまでの1週間、中3生はもちろんのこと、ささゆり学園の小中学生みんなに元気を与えたいと、毎朝7時半過ぎから第2ゲートで頑張ってくれています。昨年度の生徒会が始めた、「サンドイッチでハイタッチ」をめざしてのスタートでしたが、照れくさがる児童・生徒が多い中、生徒会役員もまだ恥ずかしさや照れがあるようで、なかなかハイタッチとまではできていませんが、元気に「おはようございます」と呼びかける声に、多くの児童・生徒は元気をもらっています。そして「おはようございます」と応えています。

『あいさつ運動』の目的は、この運動により朝から学校に活気をもたらし、みんなが元気に一日をスタートさせるということが一つあります。しかし、もっと大きな目的は、『あいさつ』が単なる運動だけで終わるのではなく、日常生活の中で自然に『あいさつ』が交わされるようになり、そして『あいさつ』を通じて人と人とのつながりが深まることです。今年度は学校として『自律』をテーマに掲げています。自分の意思で動くことを常に意識してほしいと思っています。自分の気持ちを高め、そして多くの人とのつながりの中で、積極的に自らの可能性を伸ばす意味でも、いろんなことにチャレンジしていく、その第一歩として、自分から『あいさつ』を心掛けてほしいと思います。校門での『あいさつ』だけでなく、校内どこでも友人や先輩、後輩、そして先生方や職員の方々に「おはようございます」「こんにちは」と、『あいさつ』をし



ていきましょう！友人関係が深まったり、先生を始め周りの人から声をかけられることが増えたり、何より自分の中で積極性が芽生えてきたり、必ず、素敵な変化が起こっていくと思います。



好天の中、スポーツテスト頑張りました！



昨日5月15日（水）、とってもいい天気のもと、今年度のスポーツテストが実施されました。どの種目でも、少しでも良い記録を出そうと頑張っている姿が見られました。今年度も小学校高学年も一緒に取り組みました。

新学校になって4年目。今、ささゆり学園の心配事の一つに、児童・生徒の体力の低下があります。バス通学や車で送ってもらっている人が増えたことも要因だと思われます。学校だけでなく、町としても子どもたちの体力低下をなんとかくい止め、逆に体力をつけていこうということで、今年度は町をあげて体力向上に取り組んでいます。「能勢っ子・かけっこ・日本一」を合言葉に、スポーツテストの中でも「50m 走」の結果で日本一をめざそうと、特に保育所や幼稚園、そして小学校から「オノマトペ運動」という短時間で行う運動を日々行っています。中学生は体育の授業でしっかりトレーニングも行い、部活動でも体力づくりに励んでいます。

今年度からこの「オノマトペ運動」の提唱者である、大阪経済大学の若吉浩二教授のご指導を仰ぎながら、能勢町では体力向上に向けた取組を進めていますが、昨日のスポーツテストにも若吉先生にお越しいただき、また若吉先生のもとで学ばれている大学生の方12名にも測定等のお手伝いをいただいて、例年以上に活気ある中でのスポーツテストとなりました。



今回の結果も、体育の授業等で自ら振り返りを行い、各人が体力向上に努めてほしいと思います。みなさんの中には運動が苦手な人もいるでしょうが、運動することは気持ちがいいし、心もリフレッシュできます。今後、運動好きの人が増えることを願っています。運動を習慣化することは、学力向上にも好影響を及ぼします。「能勢っ子・かけっこ・日本一」。みんなでめざしましょう。

オノマトペ運動とは

オノマトペとは、フランス語に語源を持つ擬音語・擬態語を意味し、「グッ、グッ」や「トン、トン」など運動を音で表現しながら行うものです。